



平成 16 年 10 月 25 日

各 位

熊本県上益城郡益城町田原 1155-5  
株式会社トランスジェニック  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
代表者名 代表取締役社長 是石 匡宏  
問合せ先 専務取締役 田中 淳  
電話番号 092-736-8010

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 5 月 18 日に公表しました、単体の平成 17 年 3 月期中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）業績予想、並びに平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）業績予想を下記のとおり修正いたします。また、連結の業績予想につきまして、今回より公表いたします。

記

### 1. 平成 17 年 3 月期中間期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	340	680	682
今回発表予想 (B)	284	731	733
増減額 (A - B)	56	51	51
増減率 (%)	16.4%	-	-
前期 (平成 16 年 3 月期中間期) 実績	217	711	714

### 2. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	1,260	960	972
今回発表予想 (B)	800 ~ 1,150	1,200 ~ 1,050	1,200 ~ 1,050
増減額 (A - B)	460 ~ 110	240 ~ 90	228 ~ 78
増減率 (%)	-	-	-
前期 (平成 16 年 3 月期) 実績	574	1,469	1,475

### 3. 修正の理由

#### 中間期

当中間期は、主力の遺伝子破壊マウス事業において、山之内製薬株式会社及び住友化学株式会社の2社に対し優先的に情報提供する第一市場の売上高は、ほぼ計画通りに推移いたしました。さらには、両社に情報提供したもものから共同特許の出願に至ったものが2系統現れるなど、事業的に大きく進展いたしました。しかしながら、遺伝子機能情報を非独占的に提供する第二市場については、当中間期に2社と契約し、契約企業数が7社となるなど順調に進みましたが、顧客ニーズにマッチした最適な情報提供方法の確立に時間を要し、成約に結びつきませんでした。遺伝子破壊マウスを個別に提供する個別売却市場については、成約に結びついたものの、売上計上にまでは至りませんでした。また、これら新たな市場に対する営業活動に注力したため、受託事業の受注が計画を下回ったことなどにより、当中間期の売上高は前年同期に比し、30%程度増加したものの、前回発表予想数値を下回る結果となりました。

利益につきましては、売上高が当初予想を下回ったことにより売上総利益が減少し、経費の削減などに努めてまいりましたが、経常利益及び中間純利益ともに前回発表予想数値を若干下回ることとなりました。

#### 通期

通期は、新規ビジネスである第二市場における最適な情報提供方法の確立や、個別売却市場における拡販に向けての効果的な販売チャネルの構築、GANP プロジェクト等の立ち上げに積極的に取り組んでまいります。通期の業績予想数値につきましては、これら事業の進展度合いによる影響が大きく、これらを勘案して業績予想を行うことが困難であるため、今回は業績予想数値に幅を持たせることといたしました。

### 4. 平成 17 年 3 月期連結通期業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
平成 17 年 3 月期	800 ~ 1,150	1,250 ~ 1,130	1,250 ~ 1,130
前期（平成 16 年 3 月期）実績	-	-	-

当社は、当第 1 四半期より連結財務諸表を作成しており、連結業績の見通しについては発表しておりませんでした。連結子会社、関連会社の研究開発方針等が明確になったことにより、当中間期より業績予想を公表することといたします。

なお、連結業績予想数値は、単体業績予想と同様、発表予想数値に幅を持たせることといたしました。

以上

上記の予想は、本資料発行日現在において入手可能な情報に基づく予想であり、不確定要素を含んだものです。実際の業績は様々な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。